

新年のごあいさつ



清須市長

加藤 静治

明けましておめでとうございます。

市民の皆様におかれましては、希望に満ちた平成29年の清々しい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃は市政運営にご理解とご協力を賜り、厚く感謝を申し上げます。

清須市では、昨年、更なる躍進をしていくため、本市の将来あるべき姿を展望し、新たな施策や計画をスタートさせる年と位置付け、本庁舎の増築や第2次総合計画の策定など、次の10年に向けてスタートしたところでございます。

合併時からの懸案事項でありました本庁舎の増築工事が昨年12月に完了し、この1月10日より供用が開始されます。これに伴いまして、皆様にご不便をおかけしてまいりました福祉部門・建設部門も本庁舎二体で事業を行うことができるようになりますと共に、地震災害などの危機管理機能が整った庁舎となります。また、職員で考えました「始まります 清須を支える 新拠点」をキャッチフレーズに、市民の

皆様の利便性を高め、更なる行政サービスの向上に努めてまいります。

本年は、策定されました第2次総合計画による新たなまちづくりのスタートの年でもあります。これまでの間、第1次総合計画のもとに「安全・安心」として、快適で元氣な清須の実現に向け、着実に進めてまいりましたまちづくりの成果を基盤として、更なる市の発展を遂げるため、本市の将来像としました「水と歴史に織りなされた 安心・快適で元氣な都市」の実現を目指してまいります。

しかしながら、本市には、まだまだ多くの課題が山積しております。また、近年頻発する集中豪雨や将来発生が予想されている「南海トラフ巨大地震」などの災害に備え、更なる防災力の強化が求められます。このため、排水ポンプ場の長寿命化を始め、都市下水路の整備など、総合的な治水対策にも取り組んでまいります。長年の課題でありました下水道の整備につきましても、着々と計画区域を広げ、順調に供用を開始しており、今後も流域全体に整備を進めてまいります。更には、新清洲駅前周辺整備につきましても、今後、名鉄名古屋本線高架化事業と併せて、土地区画整理事業を積極的に推進してまいります。

さて、わが国の経済情勢は、少子化に伴う人口減少問題や国際情勢の不安定さなど様々な要因により、依然低迷している状況であります。

また、政府が推し進める「大胆な金融政策」、「機動的な財政政策」、「民間投資を喚起する成長戦略」に呼応した日銀のマイナス金利政策による物価押し上げ効果も未だ明確ではなく、物価目標達成が見通せないなど、この先も経済状況の不透明感はありません。このような中ではありますが、これまでに築き上げてきた清須市の基盤づくりへの歩みを止めることなく、未来に向かって着実に前進させていくことが重要であると考えております。

今後も「安全・安心」として、快適で元氣な清須を築くために、行財政改革を一段と進め、市議会並びに市民の皆様と力を合わせ、職員共々総力を結集し、努力してまいります。

最後になりますが、市民の皆様の今年1年のご多幸とご健康を心から祈念申し上げます。頭のあいさつといたします。

謹賀新年



新年のごあいさつ



清須市議会議長

成田 義之

平成29年の年頭に当たり、謹んで新春のごあいさつを申し上げます。

市民の皆様におかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、旧年中は、市議会活動並びに市政運営に対しまして、温かいご理解と絶大なるご協力を賜り、心より厚く御礼を申し上げます。

新年にあたり、議会の責務を遂行するために全議員の総力を結集し、清須市の更なる発展を願い、新市建設計画の将来像である「水と歴史に織りなされた安心・快適な環境都市」の実現を目指し、引続き邁進する覚悟でございます。

平成19年に策定した清須市第1次総合計画は平成28年度をもって、その計画期間の満了を迎えることとなりました。この間、市民の皆様に住んでよかったと満足していただける快適なまちづくりの実現のため、図書館の開設、新給食センターの建設、市の中央部を縦断する地域内幹線道路の整備、公共下水道の供用開

始、また各地区における区画整理事業の開始など、総合計画の基本構想に基づき、着々と前進をまいりました。しかしながら、市政運営の課題は多く、昨今頻発しておりますゲリラ豪雨と称される集中豪雨や近い将来発生が予想されております南海トラフ巨大地震などの大規模災害に備え、庄内川・新川・五条川の3つの河川に挟まれている清須市においては、更なる防災力の強化を図っていかねなければなりません。また、少子化、高齢化は急速に進行しており、育児、介護への支援加速を含めて、これらの社会福祉制度等の課題への対応、次代を担う子どもたちへの教育行政の充実など、積極的に取組まなければなりません。

こうした中、昨年には第1次総合計画の基本理念や将来像を継承する事を基本としつつ、引続き長期的な視点に立って、市の将来に向けての発展すべき方向と目標を定める清須市第2次総合計画が策定されました。本計画は、行政運営マネジメントの基軸として、より実効性のある計画とするため、「基本構想」「基本計画」「実施計画」の三層構造の計画となっており、「実施計画」については、予算編成に合わせて毎年度作成することになります。近頃の経済は緩やかな回復基調といわれますが、行財政運営の厳しい状況に変わりはありません。限られた貴重な財源をどのような施策に充てるべきか、市議会といたしまして

も議員一人ひとりの責務を全うし、議会の場で議論を尽くし、将来の清須市のあるべき姿をしっかりと見定めて市政に提言していくことが、私たち議員の重要な使命であると考えております。

また、合併時の懸案事項でありました本庁舎増築工事も完了し、分庁方式から本庁方式へ移行され清須市を支える新たな拠点が誕生いたしました。私たち議員は市民の皆様方の声に耳を傾け連携を一層密にし、市と一体となつて進めるべきものについては、議員一丸となつて市と協力して積極的に進めるとともに、時には厳しい意見、討論を重ねながら監視役としての役割も果たしてまいります。

結びに本年も変わらぬご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げますとともに、市民の皆様のご多幸とご健勝を心からご祈念申し上げます。新春のごあいさつといたします。



新春を迎えて

愛知県知事 大村 秀章



あけましておめでとうございます。

昨年は、リニア中央新幹線の愛知県内での本格着工、MRJの米国での飛行試験開始など、日本の未来を創るプロジェクトがまたひとつ大きく前進しました。

また、2026年アジア競技大会の開催決定、有料道路コンセッション、公道での自動走行の実証実験など、新たな取組みに果敢に挑戦し、着実に成果を挙げた1年となりました。

今年も、こうした取組みを発展させるとともに、新たな取組みに積極的にチャレンジし、愛知の可能性を大きく広げる1年としてまいります。

2027年度のリニア開業に向け、鉄道・道路網の強化など中京大都市圏づくりを着実に進めながら、次世代産業の育成・振興、企業立地の促進、中小企業支援、農林水産業の強化、国際展示場の整備などにより、愛知の産業力を一層強化してまいります。

また、“Heart” of JAPAN ～Technology & Traditionをキーワードに、武将観光やユネスコ無形文化遺産に登録された日本一の山車からくりなど愛知の魅力の創造・発信に取組むとともに、積極的に国際交流を進めてまいります。

そして、認知症対策の拠点づくりとなる「オレンジタウン構想」にも着手するほか、医療・福祉、教育・人づくり、防災、環境、東三河地域の振興にもしっかり取組み、愛知の総合力に更なる厚みを増してまいります。

今年も、「日本一元気な愛知」の実現に全力で取組んでまいりますので、県民の皆様の一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

新年のごあいさつ

愛知県西枇杷島警察署長 青山 明彦



新年明けましておめでとうございます。

皆様には、希望に満ちた清々しい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、平素から警察活動全般にわたってご協力をいただき、誠にありがとうございます。

西枇杷島警察署では昨年、伊勢志摩サミットの開催に伴う警戒警備のため長期間にわたり相当数の署員を県内各地に派遣しましたが、それにも関わらず一昨年とほぼ同様の治安水準を維持することができました。

それは、市町をはじめ地域、事業所、関係団体の皆様の大きな力で警察活動を支えていただいたことによるものであり、心から感謝を申し上げる次第であります。

昨年は西枇杷島警察署にとって「皆様への感謝の1年」でありましたが、今年は「皆様の期待に応える1年」となるよう、署員一丸となって犯罪の抑止及び検挙、交通死亡事故の抑止、暴力団の壊滅などの各種警察活動に積極的に取組んでまいります。

引続き、皆様のご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。